

大須地区社会実験運行について

(1) 平成 24 年 4 月の利用状況

平日で 12 人～30 人，土日祝で 1 人～13 人の利用があり，利用が全く無い日はなかった。便別の状況においても，行きは 2 便を中心に 53 人～100 人の利用があり，帰りは分散するものの 20 人～75 人の利用があった。

目的別では通勤利用が最も多く，通院と通学は同程度であった。通勤者数は 9 人程度，通学者数は 6 人程度であった。

① 利用者数

1 か月間の利用者数合計 455 人

- ・大須→切串 239 人，切串→大須 216 人
- ・1 日平均利用者数 15.2 人（平日 19.1 人，土日祝 7.3 人）
- ・最大利用者数 1 日…30 人，1 便…9 人

②利用目的（切串行）

目的別	通勤	通学	通院	その他	合計
利用者数	86 人	40 人	44 人	69 人	239 人
1 日平均	2.9 人	1.3 人	1.5 人	2.3 人	8.0 人

(2) 7 月以降の運行方針（案）について

平成 24 年 5 月 17 日に開催した第 1 回公共交通協議会（陸上分科会）において協議を行い，次の方針（案）について承認を受けた。

- ・利用者数が一定数いることから，7 月以降も現状のダイヤで運行を行う。
- ・最大利用者数が 9 人を超えないことから，車両をマイクロバスからおれんじ号へ変更する。
※おれんじ号…トヨタハイエース 9 人乗り（運転手除く）
車両が新しいので，マイクロバスよりも乗り心地が良い
- ・おれんじ号と同様の事前予約制にする。ただし通勤通学など定期的に利用される場合は，月間の利用予定を記した利用予定表を提出することで事前予約とみなすこととする。
- ・試験運行期間中は無料運行であったが，7 月からはおれんじ号運賃の片道 300 円を徴収する。
- ・通勤・通学者向けに定期券の発行を検討する。

※江田島バスの定期券計算方法

ベース（片道運賃×2×30 日分）にそれぞれの割合をかける

通勤…×0.7，大学通学…×0.6，高校通学…×0.5，中学通学…×0.4